

■ 政策枠組

総合計画

● **ビジョン2030・天然資源と環境10年戦略(2016-2025) (詳細①)**
 ※プラスチックに特化した項目はないが資源消費量の削減などの要素は含まれる

基本法制度 拡大生産者責任 (EPR)

● 環境保護法(2012)
 ● 環境アセスメント令(2010)
 ※今後設置予定の国家プラスチックプラットフォームを通じてEPRやデポジット制度などの導入も検討される想定

■ 資源循環

リデュース

● 3Rを基本にレジ袋等の利用削減を目標
 ● エコ・バスケットの配布を通じたレジ袋使用削減パイロット・プロジェクト実施

リユース リサイクル

フォーマルとインフォーマルのリサイクル

マイクロ ビーズ

(特になし)

代替素材

竹のストローを作る民間イニシアチブ

公共調達

GPP (グリーン公共調達) 法はなし (国の標準・検定センターは存在)
 ※今後代替素材を基準に組み込んだ調達システムの整備も予定

■ 適正処理

廃棄物処理 体制

● 環境保護法(2012)
 ● 処分場管理令(2007)
 ➢ 廃棄物に対するまとまった政策や計画が存在しない。

流出防止

(特になし)

ごみ回収

ボランティアによるごみ回収の活動 (プラスチックに特化はしていない)

■ 横断的取組

技術開発

(特になし)

普及啓発 官民協力

国家プラスチックプラットフォームを設置予定 ※官民対話が促進される想定

科学的知見 の蓄積

● EUの支援でラオス国立大学が他国大学と連携してプラスチック利用の削減に向けた調査・訓練を実施 (2018-2020)
 ● ラオス国立大学でのプラスチックごみ管理訓練センター設立 (2021)

国際協力

● UNEP 「CounterMEASURE project」対象国都市：ヴィエンチャン
 ● 世銀やEUのSWITCH-ASIAプロジェクトなどを通じてプラスチック国家計画・戦略を策定予定

①ラオス：ビジョン2030・天然資源と環境10年戦略(2016-2025)

「グリーンでクリーンな美しいラオス」を目指し公表された中長期ビジョンである。国家成長・貧困撲滅戦略、2030年に向けた社会経済成長ビジョン等を参照して策定された。多くのセクターと協力し、効率的な天然資源の管理を実施し、グリーンで持続可能な成長を目指す。

策定年・期間	2015年5月策定
--------	-----------

目標等

下記5つの目標が掲げられている：

- ①長期的な持続可能な経済発展のために持続可能な天然資源の使用・管理・保全を行う
- ②より良い市民生活のため都市部・地方の環境基準を向上する
- ③気候変動や自然災害への対応、GHG（温室効果ガス）排出削減に貢献する
- ④天然資源と環境に関する行動計画・戦略の円滑かつ連携を図った実施を進める
- ⑤マンデートの達成に必要なMONRE（天然資源環境省）の能力強化を図る

対策

上記目標の達成に向けて、以下の戦略に基づく実施が推奨されている：

- テーマ1：天然資源の持続可能な計画・管理（土地、水、森林、鉱物資源）
- テーマ2：持続可能な環境基準の管理
- テーマ3：ラオスの気候変動への適応・緩和に係る能力強化
- テーマ4：関連セクター及び地域・国家間イニシアチブとの連携維持・強化
- テーマ5：MONREの組織能力の効率化